# 業務デザイナー機能説明書 フローテンプレート作成編

# 目次

フローテンプレート3
フローテンプレートとは
フローテンプレート作成画面 <b>4</b>
フローテンプレートの作成方法5
<i>STEP1:</i> 新規作成5
STEP2: 基本情報設定6
<i>STEP3:</i> フロー図作成7
STEP4: 役割設定11
<i>STEP5:</i> ルート(制御線)設定14
<i>STEP6:</i> 生成(下書保存)17
補足説明1. キャンバスの基本操作20
補足説明2. レイアウトを調整する20
補足説明3. 採番規則と命名規則21
補足説明4. 進捗マーク・詳細ラベルの利用26
補足説明5. 循環の使い方30
補足説明6. 分岐・集合について32
補足説明7. 条件分岐について35
補足説明8. 複数の帳票が存在するフローでの制御線設定について39
補足説明9. 文書登録・改訂・廃止用フローでの複数の帳票配置について40
補足説明1〇. 一括承認可能な承認位置の確認41

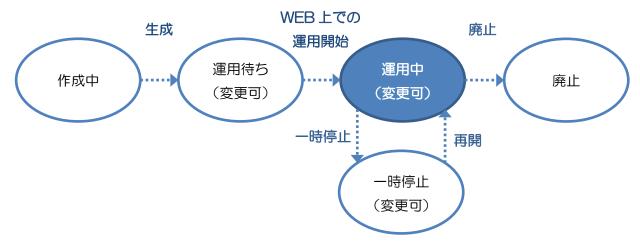
# フローテンプレート

フローテンプレートを作成するための操作方法です。

# フローテンプレートとは

「フローテンプレート」とは、作成した帳票定義をWEBシステム上で運用するため、「承認」ルートなどの処理の流れや処理の役割を設定するための機能です。実際の運用に即したフローをあらかじめ想定し、正しく設定を行ってください。また、フローテンプレートを作成後、フローフォルダへ保管しなければ、WEBシステム上で運用することはできません。フローフォルダへの保管方法は、「フローフォルダ設定編」をご参照ください。

フローテンプレートには、運用状況に応じた「状態」が存在し、次のように遷移します。



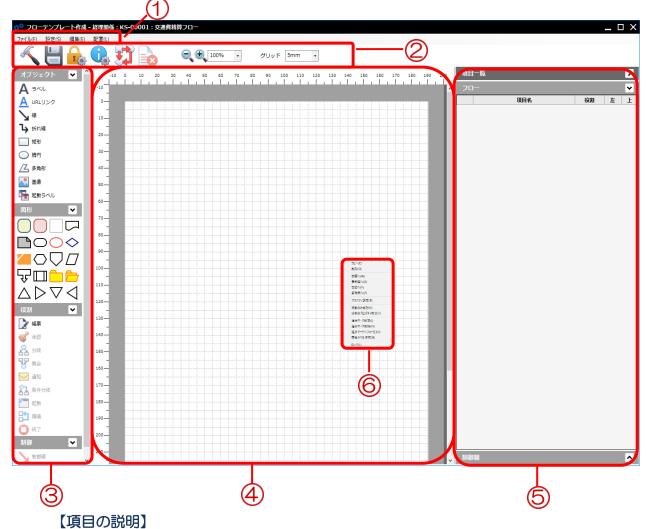
※「廃止解除」などによる状態遷移は割愛しています。

#### 【状態一覧】

No.	状態	説明
1	作成中	下書き保存として保存した場合の状態です。フローテンプレートの作成が途中であっても、保存することが可能です。
2	運用待ち	運用開始時に、日付指定で予約を行った場合の状態です。指定された日付になると「運用中」となります。
3	運用中	作成時に申請可または指定した申請可能日を迎えた状態です。フローフォルダに保管すれば、WEB上で運用することができます。
4	一時停止	WEB上の運用を一時的に停止している状態です。一時停止状態になるとWEB上での申請ができません。すでに運用中のフローに関しては、進めることが可能です。
5	廃止	必要のないフローテンプレートを廃止状態とします。また、削除可能となります。削除する場合は、 廃止にしてから削除してください。

# フローテンプレート作成画面

フローテンプレート作成のメイン画面となります。各部分の名称や、メニューの説明をします。 【フローテンプレート作成画面】



項目名 メニューバー カテゴリー毎に機能を表示します。 1 ツールバー 使用頻度の高い機能を表示します。 2 サイドメニュー フローテンプレートを作成するための部品が並んでいます。 3 キャンバス 作成するフローテンプレートのレイアウトを表示します。キャンバスに部品を配置することで、フロ ーテンプレートを作成します。 5 項目一覧 キャンバスに配置した項目及び制御線を一覧表示します。 一覧より項目や制御線をクリックするとキャンバス上で選択状態にできます。また、フロー項目をダ ブルクリックすると項目または設定されている役割のプロパティ画面を表示することができます。 6 コンテキスト キャンバスや配置されたオブジェクトなどを右クリックすると表示されるメニューです。 メニュー

各メニューには、操作に関するものや編集に関するものなど、さまざまな機能があります。それらの説明については、「フローテンプレート画面項目編-メニューバー~項目一覧]をご参照ください。

# フローテンプレートの作成方法

フローテンプレートの作成方法を、新規作成時をサンプルにご説明します。

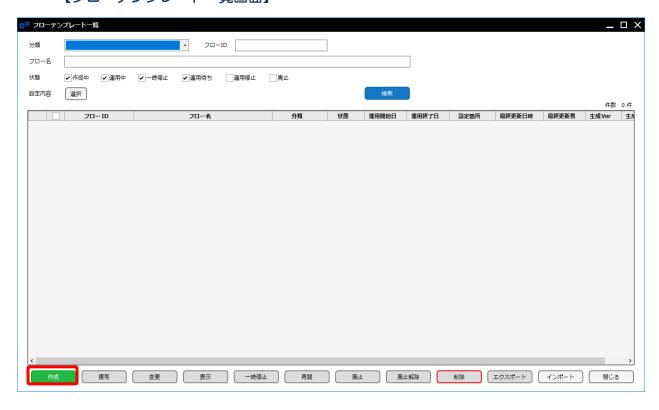
フローテンプレートの編集には、新規作成以外に複写・変更・インポートなどがありますが、そちらについては、[フローテンプレート画面項目編]をご参照ください。また、各画面の項目説明などもそちらに記載しております。

#### STEP1: 新規作成

フローテンプレートの作成を開始します。

#### 1. フローテンプレート一覧画面より [作成] ボタンをクリックする

フローテンプレート一覧画面で [作成] ボタンをクリックすると、基本情報設定画面が開きます。 【フローテンプレート一覧画面】



## STEP2:基本情報設定

フローテンプレートの [採番規則] [用紙設定] など、基本情報の入力を行います。

## 1. 基本情報を設定し、[OK] ボタンをクリックする

## 【フローテンプレート作成一基本情報設定画面】



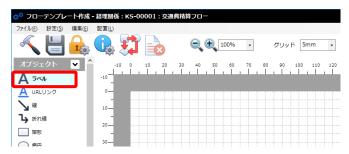
※基本情報は後からでも変更が可能です。フローの運用に特に関連する申請フローIDの採番規則とフロー名の命名規則については[補足説明3.採番規則と命名規則]をご参照ください。基本情報設定の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-基本情報設定]をご参照ください。

#### STEP3: フロー図作成

フローの処理や処理の流れを、キャンバス上に配置していきます。

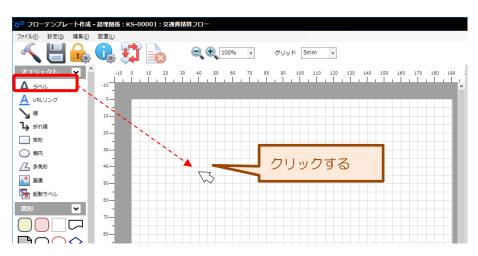
フローテンプレートは、業務フローとしても利用できますので、ラベルや画像なども用いて処理の 流れが分かりやすいものを作成してください。

# 1. [サイドメニュー] の [オブジェクト] [図形] アイコンをクリックする



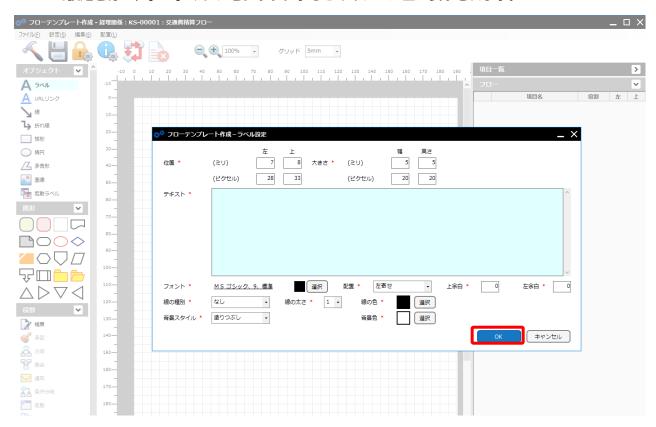
## **2.** キャンバスの配置箇所をクリックする

項目を [サイドメニュー] の [オブジェクト] [図形] より選択し、配置する場所をクリックします。 選択した項目によって、設定方法が異なります。

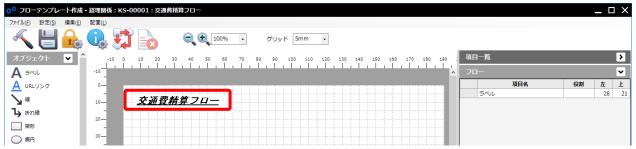


#### 2-1. ラベル・URL リンク・画像

[ラベル] [URL リンク] [画像] を配置する場合は、クリック後に表示されるプロパティ設定画面で設定を行い、[OK] ボタンをクリックするとキャンバス上に表示されます。



プロパティ設定画面で設定された内容で、キャンバス上に表示されます。

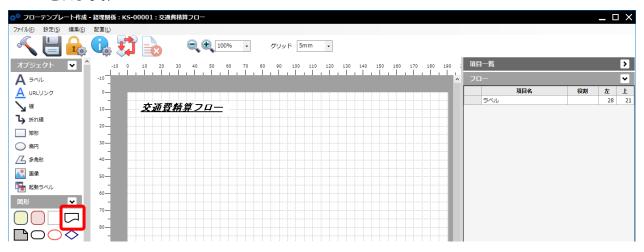


ラベルの画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-ラベル設定]をご参照ください。 URL リンクの画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-URL リンク設定]をご参照ください。

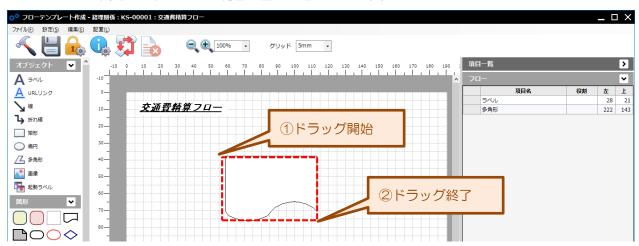
画像の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-画像設定]をご参照ください。

#### 2-2. 線·矩形·楕円·図形

[線] [矩形] [楕円] [図形]を配置する場合は、キャンバス上の配置位置の始点から終点までドラッグするとオブジェクトが配置されます。(ドラッグせずにクリックした場合は、初期サイズで配置されます。)



ドラッグ開始から終了までの範囲で図形が描画されます。

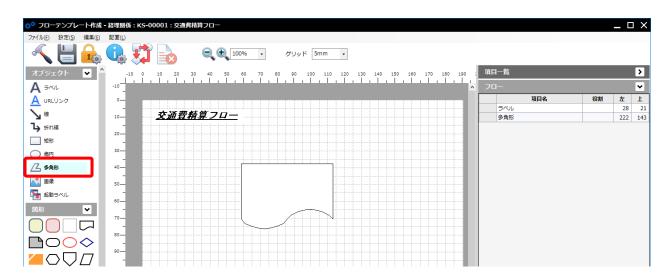


線の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-線設定]をご参照ください。

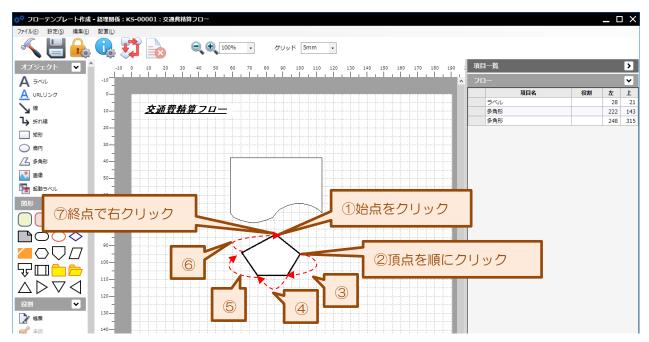
矩形・楕円・図形の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-図形設定] をご参照ください。

## 2-3. 折れ線・多角形

[折れ線] [多角形] を配置する場合は、キャンバス上でクリックするとその位置を始点として描画を開始します。クリックするたびに頂点を追加します。右クリックすると描画したオブジェクトが完成します。



始点から順にクリックで頂点を追加し、最終点で右クリックすると描画されます。



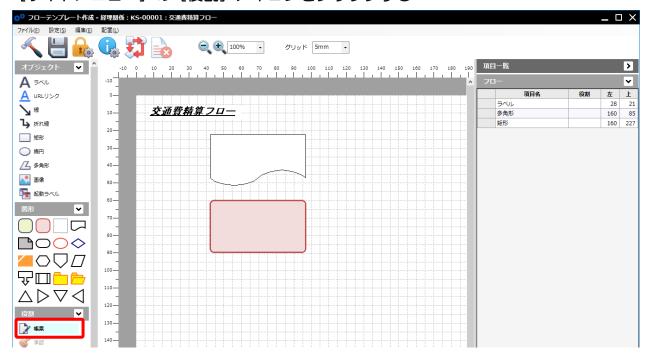
折れ線の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-線設定]をご参照ください。 多角形の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-図形設定]をご参照ください。

#### STEP4: 役割設定

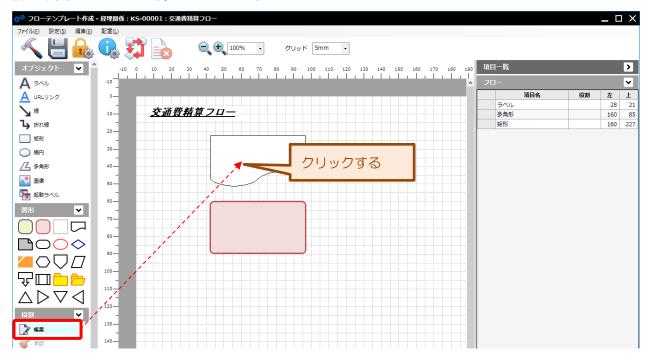
作成したフロー図の図形・画像に、役割を設定します。

フローテンプレートでは、必ず帳票を設定しなければなりません。まず、帳票を設定してください。 帳票を配置すると、その他の役割が配置可能となります。

# 1. [サイドメニュー] の [役割] アイコンをクリックする



## 2. 配置済みの図形・画像をクリックする

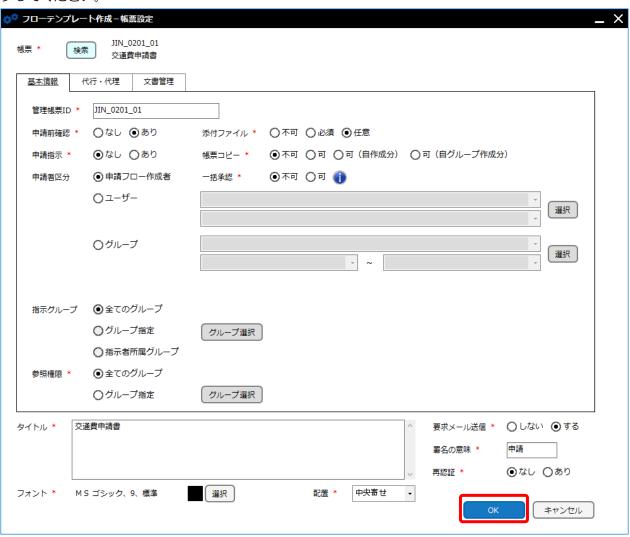


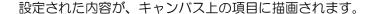
# ぱポイント [役割] アイコンの表示について

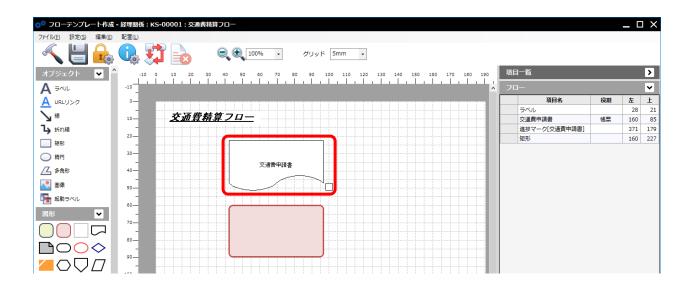
「帳票」以外の役割については、フロー図に帳票を配置後に選択可能になります。

## 3. 表示されたプロパティ設定画面を入力する

設定する役割のプロパティ設定画面が表示されます。必要項目の設定をし、[OK] ボタンをクリックしてください。







フローテンプレートでは9つの役割が設定可能です。

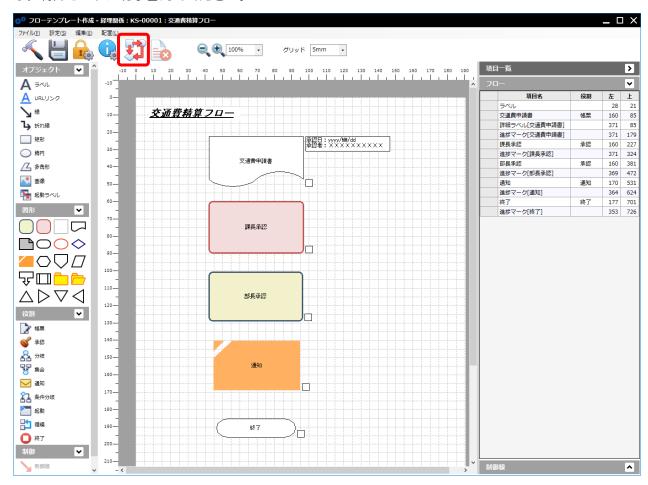
帳票の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-帳票設定」をご参照ください。 承認の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-承認設定」をご参照ください。 分岐の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-分岐設定」をご参照ください。 集合の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-集合設定」をご参照ください。 通知の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-通知設定」をご参照ください。 条件分岐の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-条件分岐設定」をご参照ください。 起動の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-起動設定」をご参照ください。 循環の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-超動設定」をご参照ください。 終了の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-修了設定」をご参照ください。

#### **STEP5:** ルート (制御線) 設定

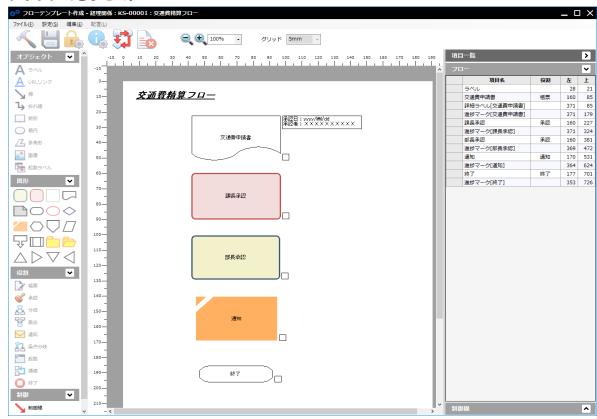
役割を設定した項目を制御線で結び、ルートを設定します。

## 1. [ツールバー] の [制御モード] アイコンをクリックする

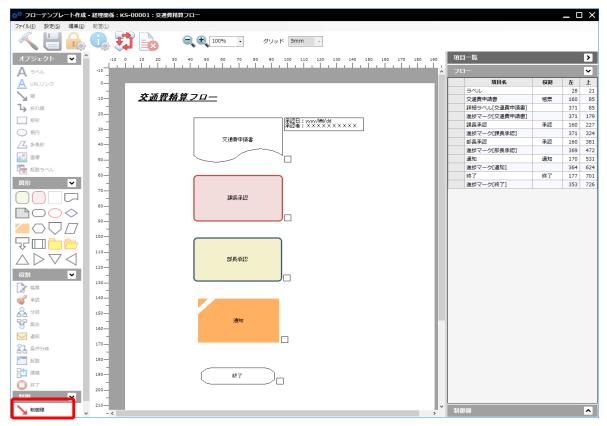
フローテンプレート作成画面には、業務フローを編集する編集モードと、フローのルートを決定する制御モードがあり、それぞれ編集内容が異なります。ルートを決定する制御線の設定を行う場合は、制御モードに切り替えてください。



制御モードに切り替えると、制御線を引く作業のみ可能です。制御線に係わる機能以外はすべて、クリックできません。



# 2. [サイドメニュー] の [制御線] アイコンをクリックする

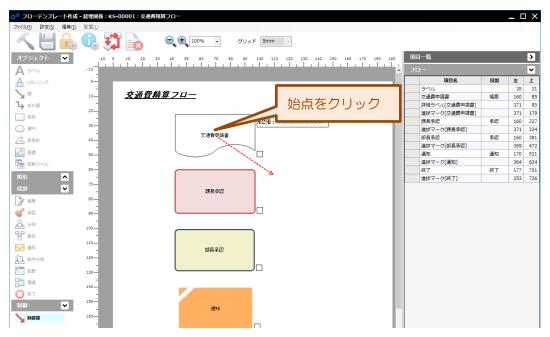


## 3. 役割間を制御線で連結する

役割の設定された項目を制御線で連結します。始点(帳票)から終点(終了)まで途切れることな く連結する必要があります。

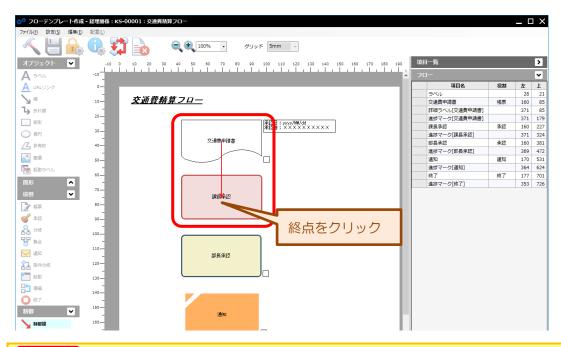
#### 3-1. 始点となる役割をクリックする

始点をクリックすると、始点から補助線(---▶)が表示されます。



#### **3-2.** 終点となる役割をクリックする

終点をクリックすると、補助線が制御線(→→)に変わります。下記の例では、交通費申請書を申請すると、申請者の上司(課長)の承認に制御が移ります。



ポイント フローの開始と終了

フローは[帳票]から始まり、[終了]で終わらなければなりません。

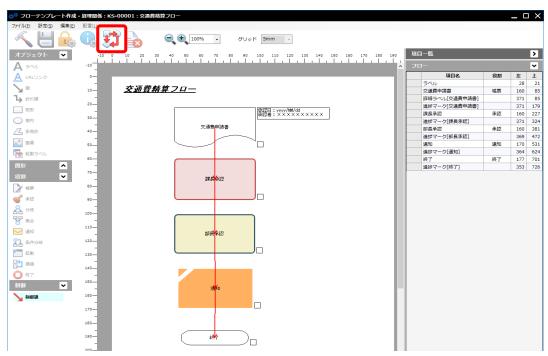
#### STEP6: 生成(下書保存)

ルートが決定すると、フローテンプレートの完成となります。

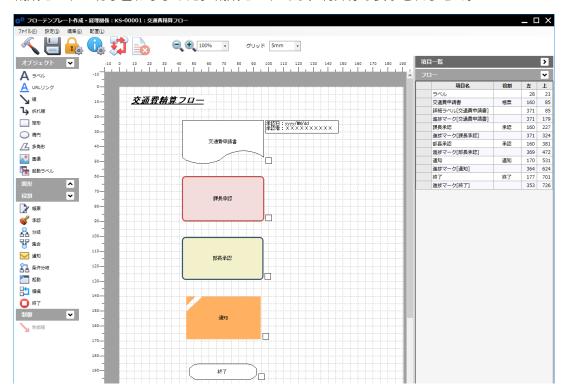
このまま、運用を開始する場合(もしくは、運用開始日を予約する場合)は [運用開始] アイコンをクリック、下書き保存する場合は [下書保存] アイコンをクリックしてください。

# 1. [ツールバー] の [制御モード] アイコンをクリックする

制御モードでは、保存ができません。編集モードに画面を切り替えて保存を行ってください。



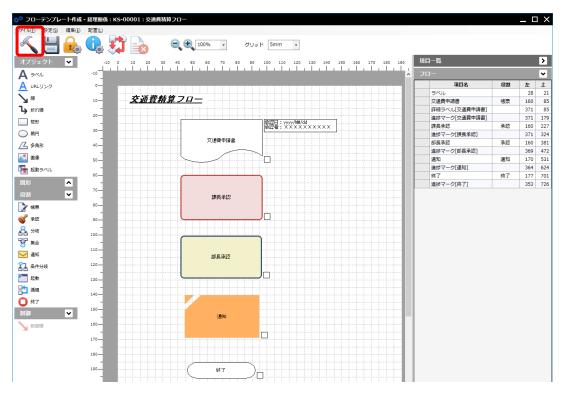
編集モードに切り替わりました。編集モードでは、制御線は表示されません。



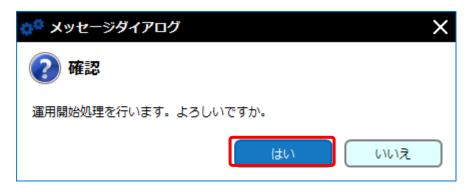
# 2. [運用開始] または [下書保存] アイコンをクリックする

フローテンプレートが作成途中の場合は、[下書保存]アイコンをクリックしてください。フローテンプレートが完成し、申請対象フローテンプレートとする場合は、[運用開始]アイコンをクリックしてください。

以降の手順については、運用開始をサンプルに記載します。

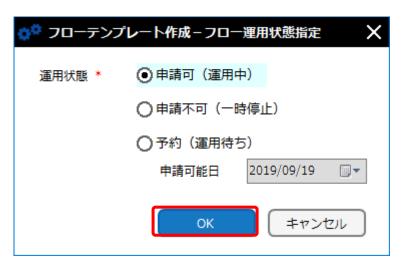


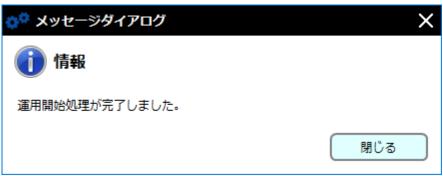
## **3.** [はい]をクリックする



# 4. 運用状態を指定し、[OK]ボタンをクリックする

作成後の運用状態を3つの選択肢から選択します。





# ポイント 運用状態の指定

運用開始時には、作成後のフロー運用状態を3つの選択肢から選択する必要があります。 申請開始日をいつに設定するかによって、相応しい運用状態を選択してください。

#### 〈申請可(運用中)〉

即日申請可能となります。

#### 〈申請不可(一時停止)>

フローテンプレートとしては登録されますが、申請はできません。

一時停止としたフローテンプレートは、フローテンプレート一覧画面より、[再開] ボタンをクリックし、運用中に変更してください。

#### <予約(運用待ち)>

申請開始日が翌日以降となる場合は、申請開始日を指定し申請予約を行ってください。 申請開始日が到来すると申請可能となります。



※フローテンプレートは、フローフォルダに保管後、申請可能となります。運用開始日となっても、フローフォルダに保管されていない場合は、申請できません。ご注意ください。

# 補足説明1、キャンバスの基本操作

キャンバスの基本操作については、帳票定義作成画面とほぼ同様です。帳票定義にあってフローテンプレートにはない操作もありますが、[帳票定義作成編-補足説明1. キャンバスの基本操作]をご参照ください。

# 補足説明2. レイアウトを調整する

レイアウトの調整方法についても、帳票定義作成画面とほぼ同様です。帳票定義にあってフローテンプレートにはない操作もありますが、[帳票定義作成編-補足説明2. レイアウトを調整する]をご参照ください。

# 補足説明3、採番規則と命名規則

フローテンプレートでは、申請フローID や申請フロー名(WEB 上で申請する際に申請フローを識別するためのID 及び名称)の採番・命名規則をフローテンプレート毎に設定することができます。設定は、基本情報設定画面で行います。

#### **1.** 申請フローID の採番規則を設定する

採番方法には、「手入力」と「自動採番」の2つがあります。

#### 1-1. 手入力を選択した場合

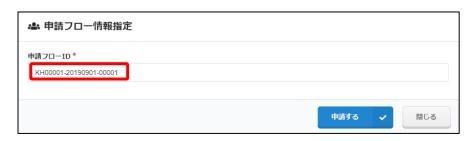
[フローテンプレート作成-基本情報設定画面]の[採番規則]タブで「手入力」を選択します。



手入力とした場合は、WEBでフローを申請する際にIDを入力します。

#### 【WEB の申請フロー情報指定画面】

WEBの申請フロー選択画面より、申請フローを選択すると、申請フローIDを入力する画面が表示されます。



#### 【WEB の要求一覧】

入力された ID は、WEB の要求一覧に申請フローID として表示されます。



#### 1-2. 自動採番を選択した場合

[フローテンプレート作成-基本情報設定画面] の [採番規則] タブで「自動採番」を選択します。 採番ルールを決定します。採番ルールには、**採番時に一意となるように「連番初期値」は必ず設定する必要があります。**「連番初期値」は、設定した採番ルールで採番されるフローの件数を見越して桁数を設定してください。(例えば、年月を yyyyMM で設定した場合、年月内で約 1000 件のフローが申請される場合は、「連番初期値」の桁数は、4桁以上にする必要があります。)



#### 【WEB の要求一覧】

自動採番された ID が、WEB の要求一覧に申請フローID として表示されます。

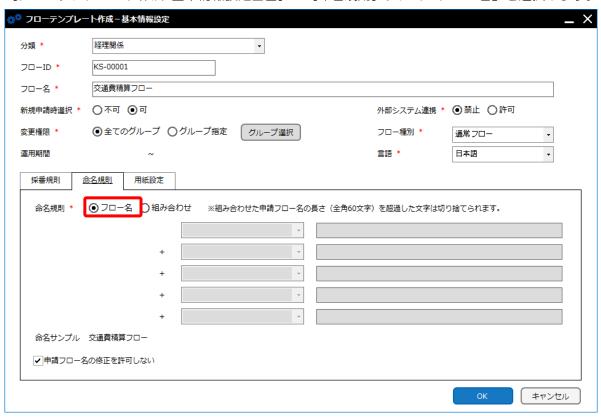


## 2. 申請フロー名の命名規則を設定する

命名方法には、「フロー名」と「組み合わせ」の2つがあります。

#### **2-1.** フロー名を選択した場合

[フローテンプレート作成-基本情報設定画面]の「命名規則」タブで「フロー名」を選択します。



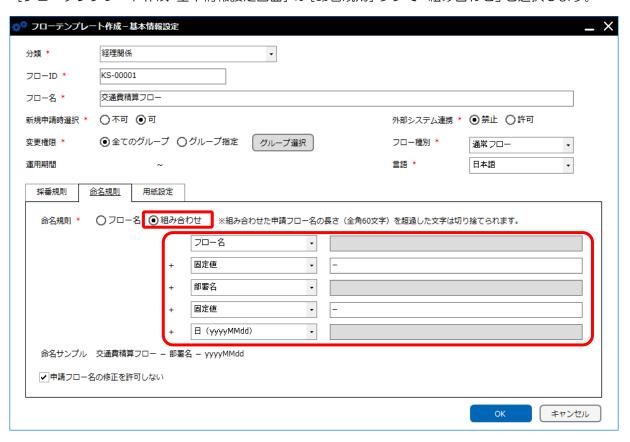
#### 【WEB の要求一覧】

WEB の要求一覧には、フロー名が申請フロー名として表示されます。



#### 2-2. 組み合わせを選択した場合

[フローテンプレート作成-基本情報設定画面]の[命名規則]タブで「組み合わせ」を選択します。



#### 【WEB の要求一覧】

WEB の要求一覧には、設定された組み合わせで命名された名称が申請フロー名として表示されます。

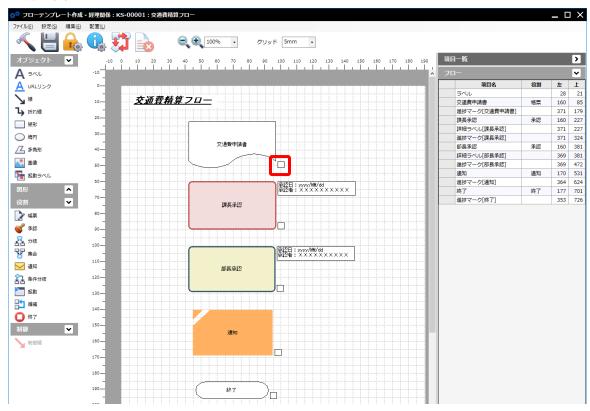


## 補足説明4. 進捗マーク・詳細ラベルの利用

WEB でフロー申請した後、フローの進捗状況や承認者の承認日時などを分かりやすく確認するために、進捗マークと詳細ラベル機能を配置します。

## 1. 進捗マークを設定する

各項目に役割を設定すると、自動的に進捗マークが表示されます。不要な場合は削除することも可能です。

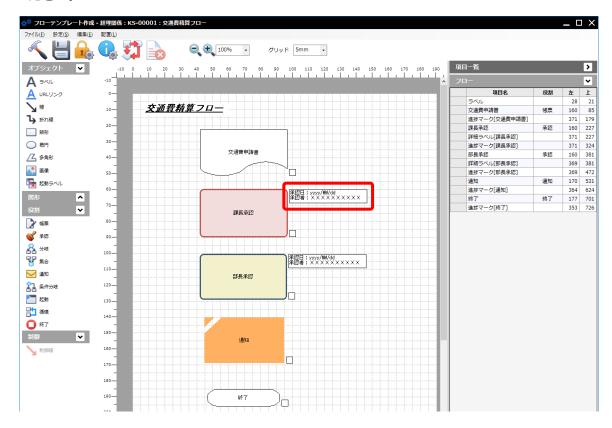


進捗マーク設定画面で、進捗状況毎の表示色の設定が可能です。 画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-進捗マーク設定]をご参照ください。

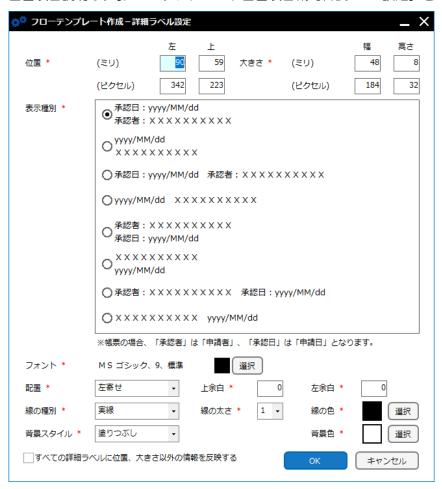


## 2. 詳細ラベルを設定する

「帳票」「承認」の役割が設定された項目にのみ、詳細ラベルを設定することができます。 項目を右クリックして表示されるコンテキストメニューより、[詳細ラベル作成] をクリックしてく ださい。



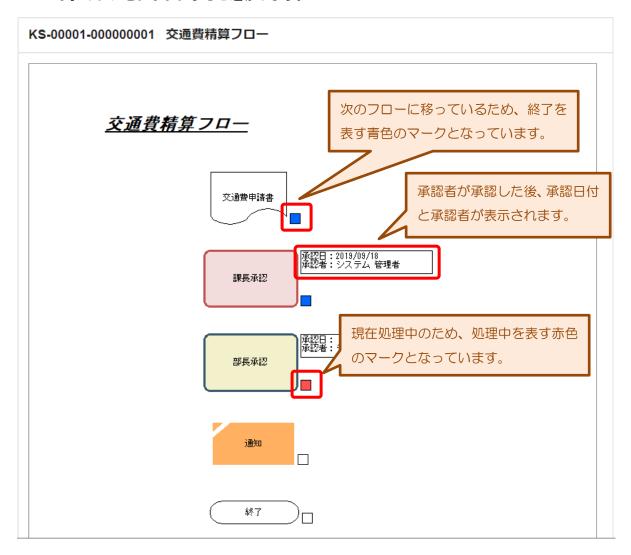
詳細ラベルは、詳細ラベル設定画面で、表示のフォントやスタイルなどを設定することができます。 画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-詳細ラベル設定]をご参照ください。



# 3. 申請後、WEB上で進捗状況を確認する

進捗マーク及び詳細ラベルを設定したフローテンプレートを WEB で申請し、フローを進めていくと、申請フロー進捗状況画面では、以下のような表示となります。

申請フロー進捗状況画面は、WEB 画面で要求一覧よりフローを選択し、帳票画面から [フロー表示] ボタンをクリックすると遷移します。



# 補足説明5. 循環の使い方

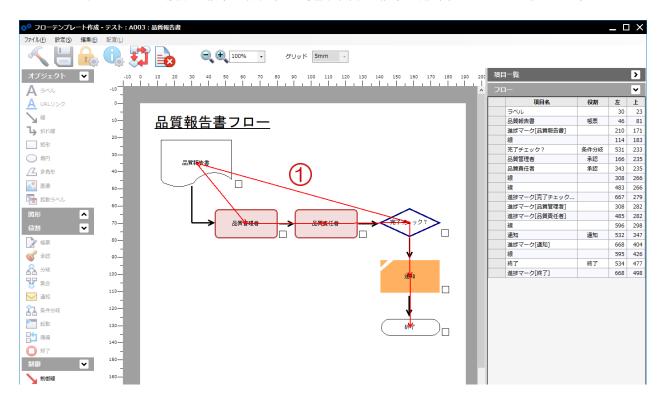
ルート設定では、同じ帳票を繰り返し登録するような場合に「循環」を使います。

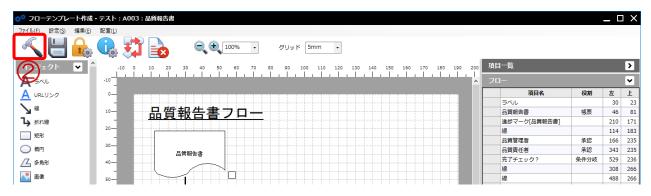
例えば、品質報告書で工程ごとに帳票を記入し、すべての工程が記入し終わったタイミングで、次のフローに進むような運用の場合です。

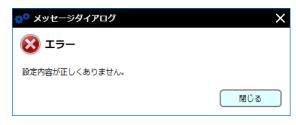
このような繰り返しを行う場合は、「循環」を使ってルートを作成してください。

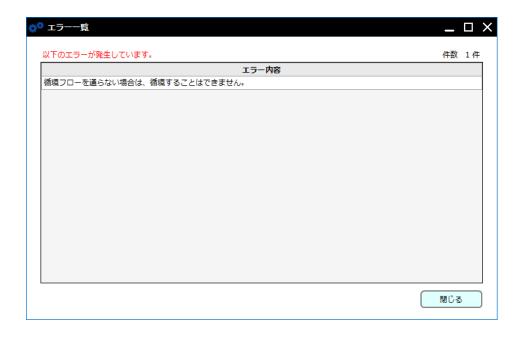
「循環」を利用しない繰り返しを設定した場合(下図①)は、[運用開始]ボタンをクリック時(下図②)にエラーが表示されます。

また、フロー上に複数の帳票が存在する場合、異なる帳票に循環することはできません。

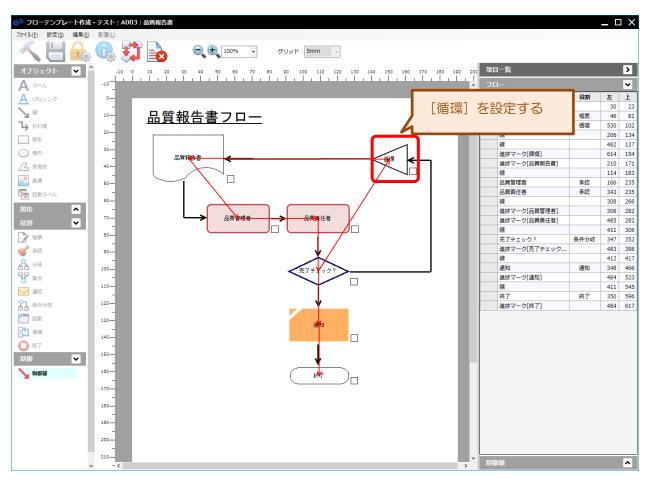








繰り返しの処理を行う場合は、必ず[循環]を挟むようにしてください。



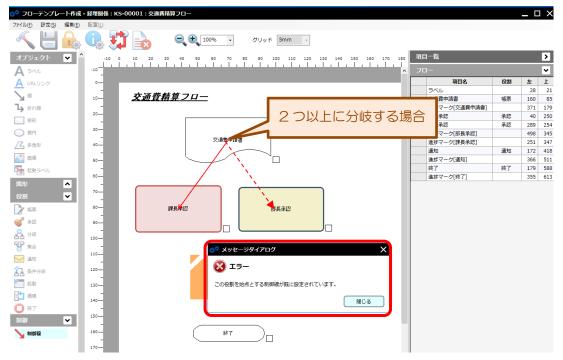
循環の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-循環設定] をご参照ください。

# 補足説明6. 分岐・集合について

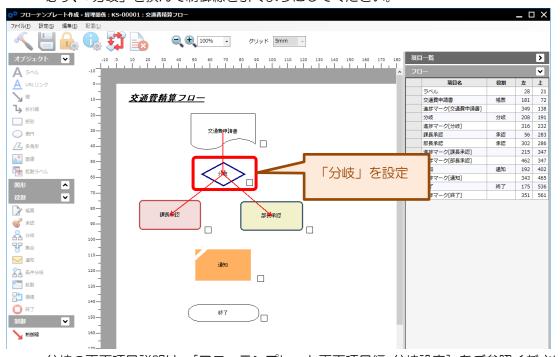
2つ以上のルートに分かれる場合は「分岐」、2つ以上のルートが集まる場合は「集合」を必ず挟んでください。制御線を設定する際に、エラーとなります。

#### 1.2つ以上のルートに分かれる場合

2つ以上にルートが分かれるように制御線を引くとエラーとなります。



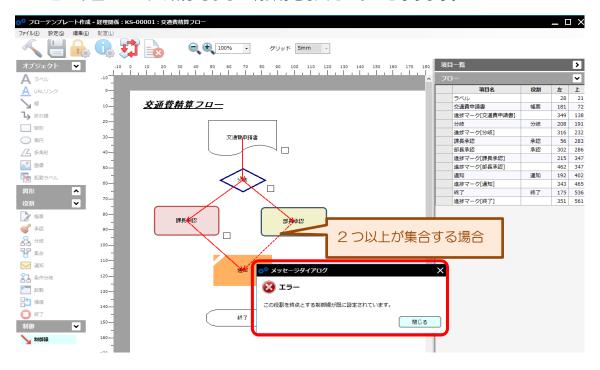
必ず、「分岐」を挟んで制御線を引くようにしてください。



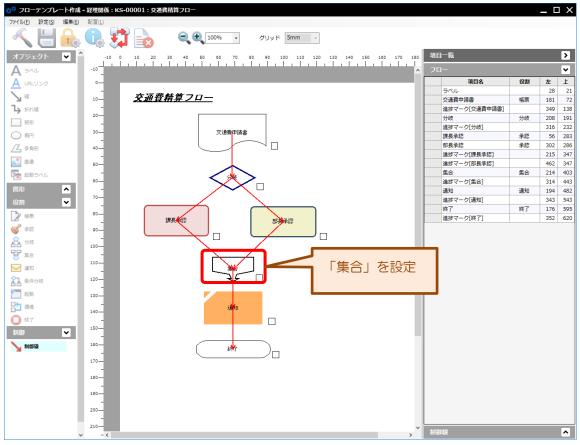
分岐の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-分岐設定]をご参照ください。

#### **2.** 2つ以上のルートが集まる場合

2つ以上のルートが集まるように制御線を引くとエラーとなります。



必ず、「集合」を挟んで制御線を引くようにしてください。

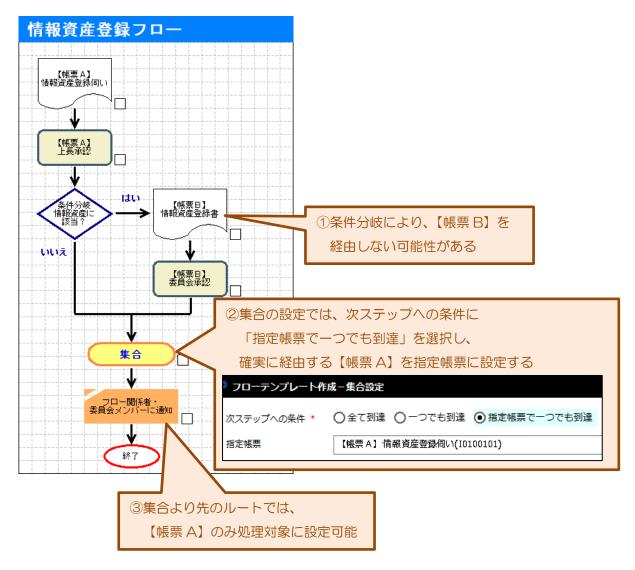


集合の画面項目説明は、「フローテンプレート画面項目編-集合設定」をご参照ください。

# 3. 複数の帳票のルートが集合して1つになる場合

フロー上に複数の帳票が存在し、それらのルートが 1 つに集合する場合、「集合」から先のルートでは、確実に到達する帳票のみ処理の対象に選択できます。

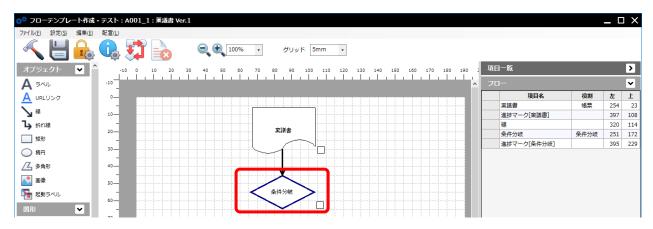
以下は2つの異なる帳票のルートが「集合」で1つになる場合の設定例です。



# 補足説明7. 条件分岐について

条件によってルートを分ける場合は、「条件分岐」を使用します。

## 1. 「条件分岐」を配置する



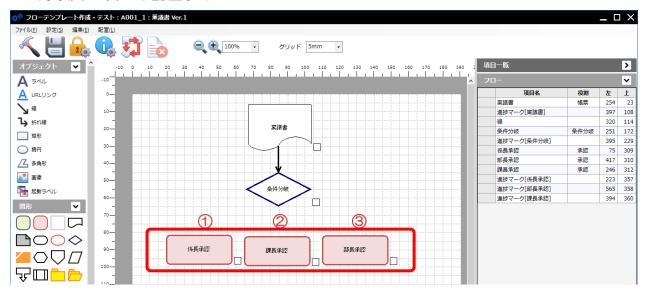
必要な条件を設定します。

例えば、「条件 O1」・「条件 O2」・「その他」で条件を設定します。



条件分岐の画面項目説明は、[フローテンプレート画面項目編-条件分岐設定]をご参照ください。

## **2.** 分岐先の項目を配置する



## 3. 飛び先の項目順に制御線を引く

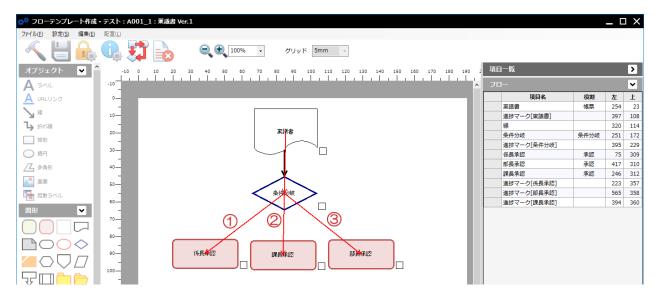
条件分岐から引く制御線の順番で、[条件Nタブ]・[その他タブ]の[飛び先]が決まります。

1 つ目の制御線の終点: [条件 O 1 タブ] の [飛び先] 2 つ目の制御線の終点: [条件 O 2 タブ] の [飛び先]

•

最後の制御線の終点:[その他タブ]の[飛び先]

となります。



# 【①:条件O1タブ】

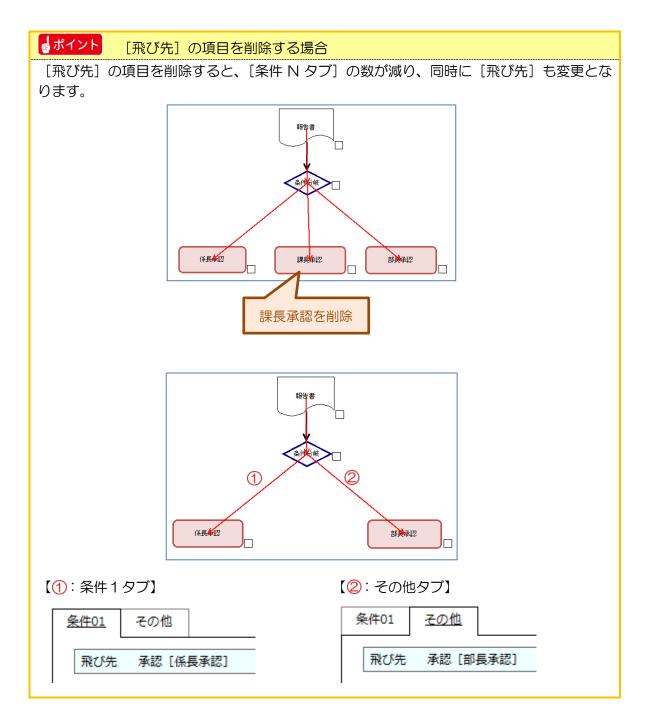


# 【②:条件02タブ】



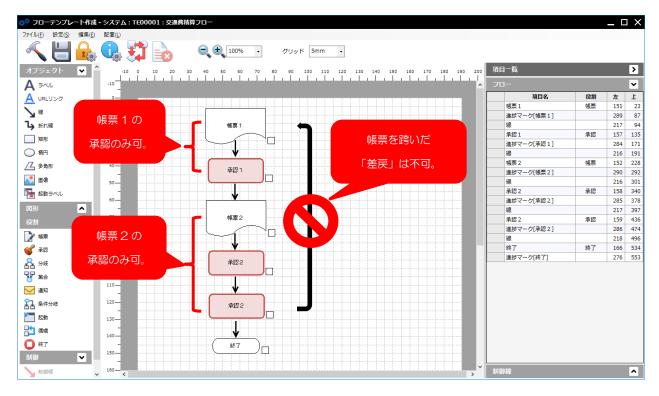
# 【③:その他タブ】





# 補足説明8. 複数の帳票が存在するフローでの制御線設定について

フローテンプレート内に複数の帳票が存在する場合、ルートが繋がっている帳票の承認のみ可能と なります。帳票を跨いでの「差戻」は、[申請フロー状態メンテナンス画面]でのみ可能です。



# 補足説明9. 文書登録・改訂・廃止用フローでの複数の帳票配置について

[基本情報設定画面]の[フロー種別]で「文書登録用フロー」・「文書改訂用フロー」・「文書廃止用フロー」を選択している場合、複数の帳票を配置することはできません。

[基本情報設定画面]の[フロー種別] は文書管理オプションを導入している場合のみ表示されます。

ø	ジェラー一覧	_		×
	以下のエラーが発生しています。	件数	1件	
	エラー内容			
	文書管理用のフローの場合、複数帳票は設定できません。			
				]
		閉じる	, ]	

# 補足説明10. 一括承認可能な承認位置の確認

[フローテンプレート作成-帳票設定] - [一括承認]で『可』に設定している場合、該当フローで一括 承認を行うことができます。ただし、必須入力項目や添付ファイル必須など、帳票定義やフローテ ンプレートの設定によっては、一括承認の対象外となる承認位置もあります。

[フローテンプレート作成] - [設定] - [一括承認]より、一括承認ダイアログを表示し、承認位置ごとの一括承認対象可否と、否の場合の理由を確認することができます。





一括承認の詳細については、[フローテンプレート画面項目編-一括承認]をご参照ください。

書 名:業務デザイナー 機能説明書(フローテンプレート作成編)

発行元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2023年9月19日

©2023 Unionthink Co., Ltd.